

精神保健福祉援助技術各論Ⅰ

担当教員 茶屋道 拓哉

配当年次 4年

開講時期 第1学期

単位区分 選択

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

【授業のねらい】

- 1 精神障害者を対象とした相談援助技術（個別援助、集団援助の過程と、相談援助に係る関連援助や精神障害者と家族の調整及び家族支援を含む）の展開について説明できるようになる。
- 2 精神障害者の地域移行支援及び医療機関と地域の連携に関する基本的考え方と支援体制の実際について基礎的知識を備える。

【授業の展開計画】

週	授 業 の 内 容
1	相談援助活動の展開①内容と方法
2	相談援助活動の展開②個別支援の実際と事例分析
3	相談援助活動の展開③集団を活用した支援の実際と事例分析
4	家族調整支援の実際①精神障害者と家族の関係
5	家族調整支援の実際②家族支援の方法
6	地域移行の対象支援体制
7	地域移行における精神保健福祉士の役割と多職種連携
8	地域移行・地域定着支援の取り組み
9	地域移行にかかわる機関と組織
10	事例による地域移行支援の検討
11	地域を基盤にした相談援助の主体と対象①精神障害者を巻き込む社会的状況
12	地域を基盤にした相談援助の主体と対象②地域相談援助の主体
13	地域を基盤にした相談援助の主体と対象③地域相談援助の対象
14	地域を基盤にした相談援助の主体と対象④地域相談援助の体制
15	地域を基盤にした相談援助の主体と対象⑤事例による地域を基盤とした相談援助活動の検討

【履修上の注意事項】

- 1 必ず講義ノートを作成すること。また、配布するプリントをファイル化し毎回持参することが必要である（配布資料は何回か使用する可能性があるため）。
- 2 授業前にテキストの該当部分を一読しておくこと。
- 3 授業後に配布された資料や講義ノート・テキスト等を用い振り返りを行いながら理解を深めること。

【評価方法】

- 1 試験（期末レポート）による評価（70%）
- 2 授業中のレスポンスやミニレポート（30%）

【テキスト】

日本精神保健福祉士養成校協会編『新・精神保健福祉士養成講座 5 精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ（第2版）』中央法規

【参考文献】

C・A・ラップ, R・J・ゴスチャ著, 田中英樹監訳『ストレングスマodel 精神障害者のためのケースマネジメント 第3版』金剛出版